

学Yのインドスタディキャンプって?(趣旨)

日本 YMCA 同盟では、学生 YMCA の海外プログラムとして過去 18 回このキャンプを開催し、延べ 133 名の学生たちを派遣しています。

日本とは全く異なる文化や社会の中で過ごす約 3 週間、参加者たちは、南インドの農村で、貧困のゆえに家族と共に暮らせない子どもたち(アンブマナイボーイズホーム他)と交流し、「貧しさ」と「豊かさ」の現実を目の当たりにします。また様々な社会的課題のために草の根で取り組む人々や団体(YMCA や SCM やマザーテレサランチ他)を訪問し、「誰かのために働く生き方」に触れます。多くの出会いや学びの積み重ねは、社会や自分の価値観に問題意識を芽生えさせ、この世界をよりよくするために、私たちに何ができるかという生き方の転換や個人の成長はもちろん、各大学・地域の学生 YMCA 活動にも影響を与えることでしょう。

またキャンプ中は、キリスト教の信仰を持つ/持たないに関わらず、共に聖書を読むことを大事にしています。聖書の言葉を通して、自らの体験や思いを自分の言葉で語り合うことで、刺激的な日々の中でじっくりと自分や他者の声に耳を傾けることができ、互いの生き方を問い対話が生まれます。共に旅する仲間たちと過ごす時間は、人と人がつながり、違いを受け入れ、他者とともに生きる喜びを私たちに教えてくれるのです。

この旅を通して、新しい自分や生き方に一步を踏み出してみませんか?

みなさんのご参加をお待ちしています。

キャンプの目的とは?

①アンブマナイボーイズホームやセントボニファスアンバム※での出会いと体験を通し、アジアへの視点を育てる。



②インドの学生キリスト教運動(インド SCM)との交流から、インドの社会的状況・課題の学びを深める。

③YMCA やマザーテレサの家など、草の根で活動する団体を訪ね、インド社会の現実と NGO の働きの大切さを学ぶ。

④帰国後、報告書や報告会を通して、この体験を日本の学生 YMCA、都市 YMCA の青年と分かち合い、各活動の活性化につなげる。

※現地受入れ責任者のスレッシュ氏が運営する、貧困家庭の子どもたちのための施設。4 歳～16 歳までの子どもが共同生活している。

キャンプ実施期間は?

2014 年 2 月 19 日 (水) ~ 3 月 8 日 (土)

*1月25日(土)または26日(日)に事前オリエンテーション(半日・東京)を行ないます(要出席)。2月19日(水)と3月8日(土)は集合・解散日(東京)となります。なお、都合により日程が変更となる場合はご了承ください。

キャンプ中の滞在先は?

- アンブマナイボーイズホームおよびセントボニファスアンバム (タミルナドゥ州カニヤクマリ)
- インド SCM ハウス (カルナタカ州バンガロール)

参加費用について

210,000円 (渡航費および現地滞在費・事前研修費含む)

※ビザ取得費用・海外旅行傷害保険・予防接種代、国内移動費、また準備にかかる個人費用は含まれていません。また燃料費高騰のため 21 万円を超える可能性もあります。

募集条件について

- 募集人数: 6 名前後 (グループの構成上、書類選考有り)
- 学生 YMCA および YMCA の活動に関わり、所属 YMCA 責任者の推薦を受けられる方 (推薦文必須)
- プログラムの趣旨・目的を理解し、プログラム前後の準備や報告書作成など積極的に協力できる方。
- グループ行動ができる協調性があり、異文化社会での生活(食べ物・気候・移動)に順応性がある方。
- 英語のコミュニケーション(日常会話)が可能な方。
- 未成年者は保護者の同意が必要になります。
- 予防接種が必要となります。

申込方法・締め切りはこちら!!

同封・添付の①「第 19 回学生 YMCA インドスタディキャンプ参加申込書」にご記入の上、②パスポートのコピーを同封し、下記事務局までお送りください。※パスポートを未取得/取得中の場合はその旨ご連絡ください。

2014年1月6日(月) 必着

※なお、最少実施人数(5名)を満たさない場合や、国際情勢等の影響で中止となる可能性もあります。ご了承ください。

【お申し込み・お問い合わせ】

日本 YMCA 同盟全国協力 学生 YMCA
横山由利亜・森 小百合
〒160-0003 東京都新宿区本塩町 7
TEL : 03-5367-6645 / FAX : 03-5367-6641
e-mail : info@ymcajapan.org
日本 YMCA 同盟 HP : www.ymcajapan.org/

～過去参加者の声（抜粋）～

◇特に印象的だったのは「誰かのために」働くインドの人々だ。その難しさを実感しながらも、その一方で、私も誰かの助けになりたいと強く感じた。「何かをしてあげたい」という思いが自然と湧いてきた。初めて経験した感情に私自身とても驚いた。

（藤田和果奈・東北大学 YMCA）

◇子どもたちは私たちに多くのことを教えてくれた。くだらないことから素晴らしいことまで、言葉が通じなくてもできること、言葉が通じないからこそ通じ合えるもの、教え始めたらきりが無い。子どもたちといるときは常に退屈しなかった。

（本間良樹・中央大学 YMCA）



◇このキャンプで経験したこと、出会った人々、私の感情、キャンパーとのかけがえのない時間、巨大な蜘蛛の巣のように絡まった複雑な世界の問題、自分の心に消えずに膨らみ続けるモヤモヤ。これらは私の生涯の財産だ。

（渡邊つぐみ・関西学院大学 YMCA）

インドでの過ごし方って？（ある日のスケジュール）

時間帯	スケジュール
午前	朝の礼拝、朝食、子どもたち登校見送り、マザーテレサブランチ等訪問
午後	昼食、滞在先（セントボンファス）に戻り休憩、帰ってきた子どもたちと遊ぶ
夕方～夜	夜の礼拝、夕食、聖書を読む会とミーティング、就寝

さあ、人生を変える旅に出かけよう！

＊ ＊ 前回引率スタッフから呼びかけ ＊ ＊

インドスタディキャンプに行けば何かが変わる。このキャンプに参加した学生たちの声を聞いているとそう感じずにはられません。

見知らぬ世界を見たい、いろんな人と知り合いたい、アジアの社会的問題を考えたいなど、参加動機は違いますが、このキャンプでの最大の魅力は、テレビやインターネットでは知ることのできない、インドで生きる人々との生身の出会いだと思います。それは、物質的な豊かさが溢れる日本に生きる私たちに、目に見えない幸せのカタチや、思いもよらない発見、本当に大切なものとは何かを知るヒントを与え、自分の本来持っているチカラや可能性に気づかせてくれます。

むせ返るような暑さ、三食カレー生活、休む暇なく遊ぼうと笑顔で向かってくる子どもたち、くせのあるインド英語、宗教や文化に絡んだ複雑な社会問題など、遭遇する多様な出会いや現実を通して、望んだもの以上の体験と学びが、あなたに何かを与えてくれるはず。インドで会う人々や旅する仲間と共に、笑ったり泣いたりしながら過ごすとき、あなたの人生には必ず変化が訪れるでしょう。

さあ、心が燃える刺激的な旅と一緒に出かけませんか？

あなたのご参加を、心からお待ちしています。

森 小百合

（第18回引率スタッフ・同盟スタッフ）

2013年度 第19回
学生 YMCA
インドスタディキャンプ
〈募集要項〉

日程：2014年2月19日～3月8日

場所：インド（カルナタカ州・タミルナドゥ州）



（セントボンファスアンバハムの子どもたちと）

主催：日本 YMCA 同盟全国協力
学生 YMCA

協力：学校法人アジア学院
ワイズメンズクラブ国際協会
東西日本区